参考様式（５）

神奈川県立平塚工科高等学校における学校運営協議会地域連携部会開催結果

本校の学校運営協議会地域連携部会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	平塚工科高等学校運営協議会（平塚工科高校コミュニティ・スクール）地域連携部会
開催日時	令和２年８月 24 日(月) ９:30～10:45
開催場所	平塚工科高等学校校内各所、同第２応接室
出席者	学校運営協議会地域連携部会員 辻原（部会員）　林（部会員） 教職員 校長、副校長、小川（生徒支援グループリーダー）、秋澤（総務グループリーダー）、田中聡（教科外グループリーダー）
次回開催予定日	未定
問合せ先	副校長　田代　電話　0463-31-0417(代表)　　FAX　0463-32-6983
下欄に掲載するもの	部会概要
審議(会議)経過	１　地震火災避難訓練見学 ２　校長あいさつ ３　部会長選任 ・小島　昇委員（なでしこ小学校校長）を推薦する。全会一致で選任された。 ４　意見交換 (1) 本日の地震火災避難訓練について ・新型コロナウイルス感染症対策のため、いつもは体育館に全員避難して講評も行うのだが、学年ごとに避難場所を変え、点呼を取ることで終了とした。避難完了まで３年生が５分、２年生は７分（例年 10 分はかかる）で完了した。 ・始業式に合わせて実施したことは良い。このような訓練は継続的に行うことに意味があるので、今後も継続してもらいたい。 ・今回の放送では（緊急性のある）シェイクアウトに結び付かないので、携帯電話で流れる緊急地震速報の音を流すなど、工夫するとよい。(音は利用可能）また、津波発生あり・なしを入れるとよい。教員の動きや誘導の仕方が分かりにくく、生徒が緩慢な動きを見せたのは、教員の指導がいきわたっていないことに原因があるように思える。火災の発生場所が分かりにくく、参加者が火災現場を想定しているように思えなかった。(辻原) ・訓練ではサイレン音的なものが必要である。シェイクアウトをしていないクラスが多かった。避難集合先でちゃんと点呼を取っているかわからなかった。(関)

参考様式（５）

	・津波避難訓練はまた別の機会に行う。他に防災講話やＤＩＧ訓練等も予定している。今回の訓練は新型コロナウイルス感染症対策の影響で時間を短くしたが、点呼等は実施した。（秋澤） ・津波避難訓練では、防災無線を活用するのもよい。平塚市防災対策課として「防災平塚チャンネル」をユーチューブにアップしているので、利用してほしい。また、動画に対する要望等があれば、コメント欄に記入してほしい。今後のＤＩＧ訓練などはぜひ見学させてもらいたい。（辻原） (2) 今年度の地域連携の状況・取組について ・（生活指導）通学・登下校の交通安全指導やアンダーパスの通行を含む自転車交通安全指導を行っている。（小川） ・今年度に入ってから近隣の苦情が多い。登下校の生徒の声や部活動の声で苦情が入ることがあり、苦慮している。（校長） ・このような苦情は音の大きさは関係ない。部活動の場所を移動するといたような苦情を入れる側にとって心の対策となるような行動をとることが大切。（辻原） ・（教科外）今年度はコロナウイルス感染症の影響で部活動の勧誘が６月後半になってしまったが、部活動の加入率は非常に良い。意識付けが成功した。10 月末に開催する文化祭は限定公開となり、地域に対しては公開できなくなった。文化的・工業的なものを見せられたらと考えている。また、平塚ウェブタウンミーティングに参加しており、今後市長に対して意見をまとめて提出することになっている。 ・１年生が部活動に参加しているのは良い。（関） ・文化祭は基本的に非公開となるが、当日に学校運営協議会を開催し、委員の方には見学していただく予定である。（副校長）
会　議　資　料	なし